



プラネタリウム 春番組 「曲線で描く春の星座」

〈内容〉

春のやわらかい光を感じられる星座観察は、北の空高くに昇った北斗七星から始めましょう。北斗七星は、北極星のほかにも、春の星を探す目印になります。

北斗七星のひしゃくの柄の部分から緩やかな曲線を延ばしていくと、うしかい座のアルクトゥールスやおとめ座のスピカ、そしてからす座を見つけることができます。(春の大曲線)

また、春の注目はかに座のプレセペ星団です。ししの大鎌とふたご座の間に、光害の少ない空なら、肉眼でも美しいプレセペ星団がみられます。

それでは、プラネタリウムで春の曲線をえがいて星座を見つけてみましょう。

星座のお話もあります。

〈投影日時〉

曜日	投影開始時間		
土・日	午前11時00分	午後1時30分	午後4時00分

天体ニュース



夜明け前の東の空では 金星、土星、木星が勢ぞろい!

2019年は天の川を挟んで並び、土星と木星の輝きが目を引きます。

3月中旬ごろの明け方の東の空では、金星、土星、木星ととても明るくなり、3つの惑星がさそり座のアンタレスと並び姿が見えるのではないのでしょうか。

ぜひ、少し早起きをして見てみてくださいね。



土星

今月の星座紹介 【しし座】



「しし座」は、春の星座の中では形の整った見つけやすい星座です。ハテナマークを裏返しにした形が目印です。これはヨーロッパで使われる、草刈鎌に似ていることから、「獅子の大鎌」と呼ばれています。

ギリシャ神話では、英雄ヘラクレスに退治された人食いライオンが、星座になったと伝えられています。